



平成 28 年 11 月 8 日

各 位

会 社 名 日本コンクリート工業株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長兼COO 土田 伸治
(コード: 5269 東証第 1 部)
問い合わせ先 取締役執行役員 今井 昭一
(TEL 03-3452-1025)

第 2 四半期、通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 5 月 13 日に公表しました平成 29 年 3 月期第 2 四半期業績予想、通期業績予想及び期末配当予想を修正しましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 第 2 四半期業績予想値 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日) の修正について

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 18,000	百万円 750	百万円 900	百万円 650	円 銭 11.25
今回修正予想 (B)	16,190	440	570	330	5.77
増減額 (B - A)	△1,810	△310	△330	△320	
増減率 (%)	△10.1	△41.3	△36.7	△49.2	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	16,184	529	689	436	7.62

修正の理由

コンクリートパイルの出荷が第 2 四半期に入りさらに落ち込み、上期の国内需要は前年同期比△ 4.9% 減少いたしました。これに伴い、受注競争も厳しさを増しており、当社のコンクリートパイル出荷も期初計画を下回りました。また、電力会社向けコンクリートポールも計画を下回る出荷で推移したことにより、売上高は当初見込みを下回りました。

利益につきましては、売上高の減少に加え、コンクリートパイル・コンクリートポールの生産量が計画を大幅に下回ったことにより、引き続きコスト削減に努めたものの工場の採算が悪化し、想定を下回る結果となりました。

2. 通期業績予想値（平成28年4月1日～平成29年3月31日）の修正について

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 38,000	百万円 1,850	百万円 2,000	百万円 1,450	円 銭 25.09
今回発表予想（B）	34,500	1,200	1,350	900	15.72
増減額（B－A）	△3,500	△650	△650	△550	
増減率（％）	△9.2	△35.1	△32.5	△37.9	
（ご参考）前期実績 （平成28年3月期）	32,696	1,055	1,277	990	17.28

修正の理由

当社主力製品のうち、大径RCセグメントは、生産が順調に拡大しており、販売計画に変更はありません。一方、コンクリートパイルは、下期に需要が大幅に回復することは見込めないと考えております。また、コンクリートポールも、分割柱の増加は期待できるものの、全体として不透明な状況が続いております。

このような状況の下、売上高は、コンクリートパイル、コンクリートポールの出荷が、下期も期初計画に比べ減少することを想定し、修正いたしました。

利益につきましても、上期と同様の理由により減少することを想定し、修正いたしました。

3. 期末配当予想の修正について

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 （平成28年5月13日発表）	円 銭 3.00	円 銭 4.00	円 銭 7.00
今回修正予想	3.00	3.00	6.00
前期実績 （平成28年3月期）	2.50	3.50	6.00

修正の理由

当社は、経営基盤を強化し、企業価値向上を図るとともに、株主の皆様への利益還元を重要な経営方針の一つとしております。

利益配分は、業績の許す限り、安定した配当の実施を基本としておりますが、前述の業績予想の修正を踏まえ、期末の利益剰余金の配当につきましては、誠に遺憾ながら、上記のとおり1株当たり3円に修正させていただき、中間配当金とあわせた年間配当金は、前年と同額の1株当たり6円とさせていただきます。

（注）上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等はさまざまな要因により異なる可能性があります。

以上